## 発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

76167			
出願人作	人野人		
- \$		伊東 忠彦	様
あて名			PK
〒 15	0-6032	·	1
	京都渋谷区恵り ンプレイスタワ	比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーフー32階	

REC'D	1 4 APR 2005
WIPO	PCT.

PCT 国際調査機関の見解售 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

デンプレイスタワー32階				
プンプレイスクシー32階		発送日 (日.月.年)	12	2. 4. 2005
出願人又は代理人 の寄類記号 SJ0400	0 6 P C T	今後の手続きについては、下記2を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/019412	国際出願日 (日.月.年) 24.	12.2004	優先日 (日.月.年)	07. 01. 2004
国際特許分類 (IPC)	Int	.C1'B29C4	5/76	
出願人(氏名又は名称)	住友重機械工	業株式会社		

1.	この見解書は次の内容を含む。
	X 第I欄 見解の基礎
	□ 第Ⅱ欄 優先権
	第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
	第IV概 発明の単一性の欠如
	X 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明
	□ 第VI欄 ある種の引用文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	第VI概 国際出願の不備
	■ 第四個 国際出願に対する意見
2.	今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。
3.	さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。 

見解費を作成した日 22.03.2005			
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 杉江 渉	4 F	9 4 4 1
郵便番号100-8915 東京都千代田区館が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線	3430

第 Ⅰ 欄 見解の基	礎						
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。							
この見解る	語による翻訳文を基礎として作成した。   誤調査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。						
	2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。						
a. タイプ	<b>一</b> 配列表						
	配列表に関連するテーブル						
b. フォーマッ	ト 一 書面						
•	コンピュータ読み取り可能な形式						
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる						
	□ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された						
	□ 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された						
	配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出題後に提出した配列若しくは追加して提出し 出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が						
4. 補足意見:							
	•						
	•						
	•						

#### 国際調査機関の見解書

第V棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 それを返付る文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)

請求の範囲 1-10 \_\_\_

請求の範囲

進歩性(IS)

請求の範囲

請求の範囲 1-10

**産業上の利用可能性(IA)** 請求の範囲 <u>1-10</u> 請求の範囲

#### 2. 文献及び説明

文献1:JP 2003-297538 A(松下電器産業株式会社)

2003.10.17

文献2: JP 7-329138 A (ファナック株式会社)

1995. 12. 19

文献3: JP 61-132319 A (山洋電気株式会社)

1986.06.19

文献4:JP 2001-328139 A (株式会社ミヤデン)

2001.11.27

文献 5: JP 6-335954 A (株式会社三葉製作所)

1994. 12. 06

文献 6: JP 2001-204184 A (住友重機械工業株式会社)

2001.07.27

文献7:JP 11-289793 A(住友重機械工業株式会社)

1999. 10. 19

# 請求の範囲1-10について

請求の範囲1-10は、国際調査報告で引用された文献1-7により進歩性を有 しない。

文献1の加熱シリンダを加熱する加熱ユニットと加熱ユニットに高周波電流を供 給するインバータ装置を有する電磁誘導加熱装置において、文献2-3のようにイ ンバータに直流電源部から電流を供給すること、インバータによりサーボモータの 制御を行うことは当業者にとって容易である。またその際に、文献4-5のように 数Hz~数十Hzの周波数制御を行うこと、文献6のようにインバータの入力側に スイッチ機構を設けること、文献7のようにインバータの入力側に電圧を調整する 回路を設けることも、当業者にとって容易である。

. <b>4</b>	<b>持許協力</b>	条約				
発信人 日本国特許庁 (国際調査機関) ————————————————————————————————————			9.1	V DD 3008		
出願人代理人			REC'D 1 4	APR ZUUL	ļ	
伊東 忠彦			MIPO	PCT.	-0	
サ米心彦	様					
あて名			PCT			
<b>〒 150−6032</b>			国際調査機関の見解	辔		
		(法施行規則第40条の2)				
東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガー デンプレイスタワー32階	-		〔PCT規則43の2. 	1J		
		発送日	40 4	000	Creata	
		(日.月.年)	12.4	. 200	<u>ე</u>	
出願人又は代理人 の <b>書類記号</b> SJ04006PCT		今後の手続きに	ついては、下記2を参	照すること	0	
国際出願番号 国際出願日	····	. <del></del>	優先日			
PCT/JP2004/019412 (日.月.年)	24.	12.2004		. 01. 2	004	
国際特許分類 (IPC)	I n t		5/76	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
四級付用の数(1m)	1 11 1	C	37 7 0			
	<del></del>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			·	
出願人(氏名又は名称)  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	继州工	業株式会社				
				<u> </u>		
<ul> <li>第I欄 優先権</li> <li>第II欄 新規性、進歩性又は産業上の利用</li> <li>第IV欄 発明の単一性の欠如</li> <li>X 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定を表付けるための文献及る</li> <li>第VI欄 ある種の引用文献</li> <li>第VI欄 国際出願の不備</li> <li>第VI欄 国際出願に対する意見</li> </ul>	定する			主についての	見解、	
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基 ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、	らづいて	国際調査機関の見	解書を国際予備審査機	機関の見解	まとみな	
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解 ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く滞 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することが	す了する	期限が経過するま				
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を	老照す	ること。			•	
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の係	請考を <b>参</b>	照すること。				
見解費を作成した日 22.03.2005						
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	限のある職員) 杉江 歩	4 F	9 4 4	
郵便番号100-8915						

3 4 3 0

電話番号 03-3581-1101 内線

東京都千代田区館が関三丁目4番3号

第 I 欄 見解の基礎		
1. この見解書は、下	記に示っ	す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
この見解徴は、		語による翻訳文を基礎として作成した。
それは国際調査	生のため	に提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解		かつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 成した。
a. タイプ		配列表
		配列表に関連するテーブル
		ethern:
b. フォーマット		<b>書面</b>
•		コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期		出願時の国際出願に含まれる
		この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
· .		出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
3 さらに、配列 た配列が出庭 あった。	時に提	配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
4. 補足意見:		
•		
•		
		,
		$\cdot$

		、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、 返付る文献及び説明	
	1. 見解		
	新規性(N)	請求の範囲 <u>1-10</u> 請求の範囲	有無
	進歩性(I:	S) 請求の範囲	有無
	産業上の利力	用可能性 (IA)	有無
-	2. 文献及び		
		: JP 2003-297538 A (松下電器産業株式会社)	•
		2003.10.17 :JP 7-329138 A (ファナック株式会社) 1995.12.19	
	文献3	: JP 61-132319 A (山洋電気株式会社)	
	文献 4	1986.06.19 : JP 2001-328139 A (株式会社ミヤデン) 2001.11.27	
	文献 5	: JP 6-335954 A (株式会社三葉製作所)	
	文献 6	1994.12.06 :JP 2001-204184 A(住友重機械工業株式会社) 2001.07.27	٠
	文献7	: JP 11-289793 A (住友重機械工業株式会社) 1999. 10. 19	
	語求の 請求の 請求(	範囲1-10について の範囲1-10は,国際調査報告で引用された文献1-7により進歩性を	*有
	しない。 文献	。 1の加熱シリンダを加熱する加熱ユニットと加熱ユニットに高周波電流を	:供
-		インバータ装置を有する電磁誘導加熱装置において,文献2-3のように タに直流電源部から電流を供給すること,インバータによりサーボモータ	
		行うことは当業者にとって容易である。またその際に、文献4-5のよう	
	数Hz	〜数十Hzの周波数制御を行うこと、文献6のようにインバータの入力側	別に
		チ機構を設けること、文献7のようにインバータの入力側に電圧を調整す 設けることも、当業者にとって容易である。	্
	り登出	以いるしても、コ末省にしてて台勿しめる。	